

平成26年度

事業報告書

自 平成26年4月1日  
至 平成27年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

## 平成26年度 事業報告

近年、身近な生き物の保全や都市のヒートアイランド現象の緩和、市街地における防災力の向上など、みどりを活用した持続的な発展が可能な都市づくりとゆとりと潤いのある生活環境の実現が求められている。

また、みどりに対する市民意識や企業の社会・環境貢献活動(CSR活動)の高まり、市民の緑化活動への参加の活発化など、自然と共生したみどり豊かな都市づくりに対する期待と関心が高まっている。

都市のみどりの保全・再生・創出を進めるためには、行政による都市公園の整備や緑化事業のみならず、市民による緑化活動や企業によるみどりの保全・創出に係わる取組みなど、多様な主体が参加しての緑化の推進と、それを支えるみどりに関する技術や知識の普及啓発が必要である。

当機構は、公益法人として適切な運営に努めるとともに、安全で快適な都市環境の形成、人と自然が調和したみどり豊かな都市づくりに寄与すべく、平成26年度においては以下の事業を実施した。

### 1. 普及啓発事業

#### (1) 全国都市緑化フェアの実施

都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進するため、第31回全国都市緑化しずおかフェア「浜名湖花博2014～花と緑の祭典～」を以下のとおり開催した。

主 催	静岡県、浜松市、公益財団法人都市緑化機構
開 催 地	浜名湖ガーデンパーク及びはままつフラワーパーク（浜松市）
開催期間	平成26年3月21日から6月15日まで（87日間）
入 場 者	129万人

また、長年、緑の創出・保全活動を行っている企業について、その優れた活動を全国へ広く発信し、都市緑化意識の高揚を図ることを目的に、全国都市緑化フェアの普及啓発催事の一環として平成25年度に「みどりの社会貢献賞」を創設しており、平成26年度の第2回「みどりの社会貢献賞」では以下の優秀事例3件を表彰した。

- 富士通株式会社  
「沼津工場」（静岡県沼津市）
- 出光興産株式会社  
「千葉製油所、千葉工場および出光会館」（千葉県市原市）
- 花王株式会社  
「和歌山工場」（和歌山県和歌山市）

## (2) 全国都市緑化祭の実施

全国都市緑化フェアの中心的な行事として、秋篠宮同妃両殿下の御臨席のもと、平成26年度全国都市緑化祭を開催した。

主 催	国土交通省、静岡県、浜松市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場	浜名湖ガーデンパーク 水辺の劇場
開催日	平成26年4月15日(火)
式典概要	主催者挨拶 秋篠宮殿下おことば 表彰 ・出展庭園コンテスト ・みどりの社会貢献賞 生徒・児童による都市緑化宣言 閉会宣言 (式典終了後、記念事業(お手入れ))

## (3) 都市緑化キャンペーンの実施及び普及啓発ポスターの配布

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、太田国土交通大臣を迎えて、以下のとおり都市緑化キャンペーンを開催した。また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により普及啓発ポスターを作成、配布した。

### ○ 都市緑化キャンペーン

主 催	都市緑化推進運動協力会 企画運営：公益財団法人都市緑化機構
実施日	平成26年10月10日(金)
会 場	有楽町駅前広場(東京都千代田区)
概 要	全国都市緑化フェア等のパネルの掲出 花苗1,100鉢の配布
参加者	約3,000人

### ○ 普及啓発ポスター

時 期	「春季における都市緑化推進運動」(4月1日～6月30日) 「都市緑化月間」(10月1日～10月31日)
配布枚数	各12,000枚
配布先	国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、 日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社など920団体及びその 関係団体

## (4) スカイフロントフォーラム

屋上や壁面などの特殊空間の緑化を推進し、みどり豊かなうるおいのある生活環境の実現を図ることを目的として、特定非営利活動法人屋上開発研究会との共催により以下のとおり第19回及び第20回「スカイフロントフォーラム」を開催した。

## 第19回「スカイフロントフォーラム」

会 場	日比谷図書文化館ホール（日比谷公園内）
開 催 日	平成26年4月22日（火）
参 加 者	128人
テ ー マ	都市緑化100年の計 ～「温故知新」先人に学ぶこれからの都市緑化～
講 演	・『温故知新・先人の知恵と技術を紡ぎ明日の都市緑化を拓く』 ー東京五輪を機に日本庭園をユネスコの無形文化遺産にー 近藤 三雄 東京農業大学 教授 ・『みどりの未来都市への構築』 戸田 芳樹 株式会社戸田芳樹風景計画 代表取締役 ・『奥深き造園技術のとばくち』ーデザイン アンド ビルトへー 高橋 一輔 アゴラ造園株式会社 代表取締役会長

## 第20回「スカイフロントフォーラム」

会 場	日比谷図書文化館ホール（日比谷公園内）
開 催 日	平成27年3月18日（水）
参 加 者	111人
テ ー マ	都市緑化100年の計ー2 ～屋上緑化・壁面緑化の進化と都市環境の近未来～
講 演	・『明日の都市緑化』 輿水 肇 明治大学農学部教授 公益財団法人都市緑化機構 理事長 ・『「公園」のような屋上建築』 伊藤 麻里 一級建築士 U A O株式会社 代表取締役 ・『都市緑化の経済的価値』 田島 夏与 立教大学経済学部 准教授 ・『豊かな暮らしと社会を構築する屋上園芸』 木村 正典 株式会社グリーンワイズプロデューサー ジャパンハーツサエティ 専務理事

## 2. 顕彰事業

### (1) 緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・街づくりをめざし、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に先進的、意欲的に取り組み、緑化や緑の保全に良好な成果をあげている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第34回「緑の都市賞」では、審査委員会（平成26年9月24日（水）開催。委員長：樺山 紘一 印刷博物館 館長）を経て、以下の11件が受賞した。

賞	部門	受賞者
内閣総理大臣賞	緑の事業活動	積水ハウス株式会社 『新梅田シティ「新・里山」「希望の壁」』（大阪府大阪市）
国土交通大臣賞	緑の市民協働	名東自然倶楽部 『猪高緑地』（愛知県名古屋市）
	緑の事業活動	株式会社メディカルマネジメント松沢／東京パワーテクノロジー株式会社 『都立松沢病院』（東京都世田谷区）
	緑のまちづくり	所沢市（埼玉県）
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	長崎県立島原農業高等学校 『しまばら芝桜公園』（長崎県島原市）
	緑の事業活動	三井住友海上火災保険株式会社 『三井住友海上駿河台ビル・駿河台新館』（東京都千代田区）
	緑のまちづくり	京都府『関西文化学術研究都市（京都府域）』 （京都府木津川市・京田辺市・精華町）
奨励賞	緑の市民協働	船橋小径の会 『世田谷区地域風景資産「季節の野草に出会う小径」』（東京都世田谷区）
		大阪府立園芸高等学校 環境緑化科 『妙見の森・梅田カナル・狭山池公園・笹原公園・彩都西公園・伊丹空港・長居公園パタライガーデン』（大阪府大阪市他）
	緑の事業活動	株式会社ヤマト 『ヤマトビオトープ園』（群馬県前橋市） 関電不動産株式会社／ダイビル株式会社／株式会社日建設計 『中之島 四季の丘・ダイビル本館』（大阪府大阪市）

## （2）屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール

都市のヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保等都市環境の改善に資するため、過密化する都市に残る貴重な未利用空間である建築物等の屋上や壁面、人工地盤や駐車場などの特殊空間における緑化に関する優れた技術、作品を顕彰している。

第13回「屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」は、審査委員会（平成26年9月10日（水）開催。委員長：近藤 三雄 東京農業大学名誉教授）を経て、以下の10件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
国土交通大臣賞	屋上緑化	『目黒区立目黒天空庭園』（東京都目黒区） 目黒区／首都高速道路株式会社ほか
	壁面・特殊緑化	『大正製薬関西支店』（大阪府豊中市） 大正製薬株式会社／株式会社竹中工務店ほか
環境大臣賞	屋上緑化	『新目黒東急ビル屋上庭園』（東京都品川区） 東急不動産株式会社／清水建設株式会社ほか
	壁面・特殊緑化	『緑ノビル』（京都府京都市） 合同会社桐畑／株式会社宗本晋作建築設計事務所ほか
日本経済新聞社賞	屋上緑化	『中之島四季の丘・ダイビル本館』（大阪府大阪市） 関電不動産株式会社／ダイビル株式会社ほか
	壁面・特殊緑化	『京セラ原宿ビル耐震改修』（東京都渋谷区） 株式会社フィールドフォー・デザインオフィスほか
都市緑化機構 会長賞	屋上緑化	『プラウド大井ゼームス坂』（東京都品川区） プラウド大井ゼームス坂管理組合ほか
	壁面・特殊緑化	『東急プラザ赤坂オープンコリドール「野に咲く花の回廊」』（東京都千代田区） 東急不動産株式会社／株式会社石勝エクステリアほか
審査委員会 特別賞	屋上緑化	『Sg/Secret garden』（群馬県伊勢崎市） 株式会社芦澤竜一建築設計事務所
	屋上緑化	『灘中学校高等学校』（兵庫県神戸市） 学校法人灘育英会灘中学校高等学校ほか

### (3) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第24回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（平成26年9月5日（金）開催。委員長：比嘉 照夫 名桜大学名誉教授）を経て、以下の98件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
花のまちづくり 大臣賞	市町村	南砺市（富山県）
	団 体	さがみ野やすらぎ街づくり委員会（神奈川県座間市）
国土交通大臣賞	団 体	六甲アイランドCITY自治会 ローズガーデンファミリー（兵庫県神戸市）
	団 体	まちづくりリーダー養成講座OB会（兵庫県加古川市）

賞		部 門	受 賞 者
花 の ま ち づ く り 優 秀 賞	花のまちづくり コンクール 推進協議会長賞	市町村	浜松市（静岡県）
		団 体	救護施設誠幸園（青森県十和田市）
		団 体	花と緑・環境の会（山形県長井市）
		団 体	増田町婦人会（秋田県横手市）
		団 体	厚木市立厚木中学校（神奈川県厚木市）
		団 体	ハイタウン塩浜第一住宅管理組合花クラブ （千葉県市川市）
		団 体	富士市花の会（静岡県富士市）
		団 体	園芸ボランティア掛川フラワーエンジェル （静岡県掛川市）
		個 人	鮫島 義隆／アサ子（静岡県磐田市）
		個 人	佐野 誉志照／恵美子（静岡県浜松市）
花 の ま ち づ く り 奨 励 賞	花のまちづくり コンクール 審査委員会賞	団 体	仙台市立将監中央小学校（宮城県仙台市）
		団 体	たんぼぼ会（福島県郡山市）
		団 体	真浦天畑保存会・南房総市立和田小学校3～4年生・南 房総市立南三原小学校4年生（千葉県南房総市）
		団 体	社会福祉法人浄英会 恵和保育園（新潟県長岡市）
		団 体	私たちの庭の会（愛知県一宮市）
		団 体	ガーデンクラブ バーベナあわじ（兵庫県淡路市）
		団 体	花の里グループ協議会 広棚婦人会（徳島県美馬市）
		団 体	島原市立三会小学校（長崎県島原市）
		個 人	天野 和幸（静岡県浜松市）
		企 業	グループホーム今日香 ガーデン陽だまり （静岡県磐田市）
企 業	株式会社ヤマサキ（広島県広島市）		

■花のまちづくり入選 [70点]

■花のまちづくり努力賞（若葉賞） [3点]

### 3. 助成事業

#### (1) 緑の環境デザイン賞

みどり豊かな都市環境の形成を図るとともに、人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成を目指し、地域の美しい景観を形成すると同時に人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する優れた緑化プランを顕彰し、その実現のための助成を第一生命保険株式会社との共催により実施している。

第25回「緑の環境デザイン賞」は、審査委員会（平成26年10月2日（木）開催 委員長：進士 五十八 東京農業大学名誉教授）を経て、以下の5団体に対して、約4000万円（1団体あたり約800万円）の助成を行った。

賞	受賞者	緑化場所
国土交通大臣賞	玉浦西まちづくり住民協議会	『岩沼市防災集団移転促進事業対象地「玉浦西地区」』（宮城県岩沼市）
	L.L.P.有限責任事業組合復興第一協力会	『仙台湾沿岸地区海岸防災林「社会貢献の森」』（宮城県名取市）
緑化大賞	社会福祉法人わたげのほし	『深山保育園』（長崎県諫早市）
	戸馳「夢の花咲く島」推進協議会	『宇城市戸馳花の学校』（熊本県宇城市）
	児童発達支援事業所 いっぽのひかり	『児童発達支援事業所いっぽのひかり』（宮崎県北諸県郡三股町）

また、第25回を記念して、これまでに助成した全139件の中から25件を「継続優良賞」に選定するとともに、さらに、継続優良賞25件の中から特に優れた緑地として以下の5件を表彰した。

賞	受賞者	緑化場所	助成年度
国土交通大臣賞	NPO法人こもろの杜	『大手門公園小諸市民ガーデン』（長野県小諸市）	平成20年度
都市緑化機構 会長賞	ひろしま自然の会	『呉市二河公園』（広島県呉市）	平成22年度
審査委員特別賞	福島県いわき市	『新川東緑地』（福島県いわき市）	平成6年度
	一般社団法人定山溪 観光協会	『定山源泉公園（定山溪温泉豊平川隣接 広場）』（北海道札幌市）	平成16年度
	南羊ヶ丘町内会	『北国の空に溶け込むフォリッジ・コ ミュニティガーデン』（北海道札幌市）	平成19年度



## (2) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

支援の期間は3年間で、1団体あたり初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円の総額125万円を上限に助成を行っている。

平成26年度は、選考委員会（平成27年1月26日（月）開催。委員長：蓑茂 壽太郎 東京農業大学客員教授）を経て、以下の20団体を新たに支援対象として決定したほか、2年目継続17団体、3年目継続15団体に対する支援を行った。

活動場所	団 体 名	活 動 名
宮城県 名取市	特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会	海岸のお花畑再生事業
福島県 いわき市	特定非営利活動法人勿来まちづくりサポートセンター	防災緑地に植樹する苗木の生育里親プロジェクト
福島県 伊達市	紅屋峠千本桜の会	紅屋峠千本桜 桜の森復興プロジェクト
東京都 小笠原村	特定非営利活動法人小笠原野生生物研究会	西島の外来種駆除並びに固有種の育成
千葉県 柏市	特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森	「市民で育てる100年の森」こんぶくろ池自然博物公園化
神奈川県 横浜市	横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ	「いきものにぎわいのある森」づくり
神奈川県 平塚市	いのちの森づくり友の会	ポット苗いのちの森づくり
兵庫県 神戸市	獅子ヶ池を美しくする会	獅子ヶ池を美しくする会の10周年記念事業
兵庫県 尼崎市	出会いの島（豆島）プロジェクトチーム	「豆島」からスタートする猪名川流域全体の植生改善活動
広島県 五日市市	MIK山に緑を奉賛会	山しごとで元気で長生き、支えあう地域づくり
長野県 安曇野市	あづみの再活の松プロジェクト	あづみの再活の松プロジェクト
千葉県 八千代市	みどりサポートチーム環境整備部	みどりのキャンパスプロジェクト
静岡県 西部地域	特定非営利活動法人ラブ・ネイチャーズ	樹木を知ろう、親しもう！
富山県 高岡市	特定非営利活動法人森のむささび	里山をもっと体験しよう！
静岡県 静岡市	地域の庭を作る会	あきはた 麻機コミュニティガーデン拡大プロジェクト

活動場所	団 体 名	活 動 名
大阪府 池田市・箕面市	特定非営利活動法人NPOクワガタ探検隊	大都市の里山で舞え！未来の森の守り人
奈良県 生駒市	特定非営利活動法人いこま山の子会	いこま山の子元気プロジェクト
兵庫県 神戸市	農・都共生ネットこうべ	須磨離宮・学びと遊びのバタフライガーデン
山口県 長門市	竹林ボランティア俵山	小学生の竹林体験自主学习サポート
熊本県 葦北郡芦北町	NPO法人みさと	世代間交流を通じた里山の環境整備と炭焼き体験及び環境教室

### (3) 「高原基金の森」支援事業

全国各地に特徴のある森づくりが広がり、将来のガーデンアイランド化を目指し、高原基金の森事業としてこれまでに整備した緑地の維持管理活動に取り組む市民活動団体への助成を行ってきた。

最終年度である平成26年度は、「長崎山さくらの里づくり協議会」（山梨県富士河口湖町）、「公益財団法人そらぷちキッズキャンプ」（北海道滝川市）の2団体に対して総額20万円の助成を行った。

### (4) フラワーポール等普及事業

良好な都市空間の創造や子どもからお年寄りまで誰もが利用しやすい公園等の整備、都市の環境問題の改善に寄与するため、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により安全性や耐久性のほか、デザイン性や維持管理などの面で優れた機能を有するユニバーサルデザイン施設等を都市公園等の公共施設に提供している。

平成26年度は、21団体に対して、テーブル・ベンチセット、水飲み場等のユニバーサルデザイン施設75基を提供した。

### (5) 被災地の花・みどり提供事業

東日本大震災の被災地において、緑とのふれあいによって仮設住宅等での避難生活を余儀なくされる被災者の心のケアや仮設住宅地での新たなコミュニティを生み出すきっかけとなることを願って、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により岩手県、宮城県、福島県等に建設された被災者のための仮設住宅等に対する花苗とプランターの提供を実施している。

平成26年度は、以下の11団体の60箇所の仮設住宅や災害公営住宅、公園等に計2,481基のプランターを提供した。

青森県：八戸市

岩手県：大船渡市、大槌町

宮城県：東松島市、多賀城市、白石市

福島県：二本松市、須賀川市、双葉町、葛尾村

都市再生機構岩手震災復興支援本部

#### 4. 調査、研究及び技術開発及びこれらの成果の普及

都市緑化の技術や知識を普及し、都市における自然環境の保護及び整備、安全で  
うらおいのある生活環境の形成を図るため、自主研究、共同研究、受託研究等の方法  
により、都市緑化における緑地の保全、再生及び創出、良好な緑化空間の創出、植栽  
植物の育成及び管理等に関する調査・研究及び技術開発に取り組んだ。

平成26年度における主な活動は、次のとおりである。

##### (1) 共同調査研究

###### ① 特殊空間緑化に関する調査研究

関連学会等における特殊緑化技術に関する研究活動と、本研究参加者の研究  
活動への理解を深めるため「平成26年度 特殊緑化に関する研究発表会」を  
実施した。

また、防災緑化型駐車場の普及啓発活動に向けたパンフレットを一般社団  
法人自走式駐車場工業会と共同で作成したほか、緑化技術開発として「傾斜  
屋根緑化実験及びつる植物土壌量適性実験」、「樹木の耐風性の確認試験」  
「屋上緑化の昇降技術の開発」、「歩行者と自転車を区画し都市環境向上に  
資する緑化技術の開発」を実施した。また、韓国屋上緑化事例視察会、日韓  
屋上緑化技術交流会、植物に関する基礎的な勉強会、東京農業大学オープン  
カレッジでの講座「はじめての屋上・ベランダ園芸」を実施した。

###### ② 公園緑地における防災技術に関する調査研究

昨年度に引き続き、防災公園事例集及び防災公園技術ハンドブック施設資料集  
の改訂に向けた編集作業を行い、平成27年2月に「防災公園技術ハンドブック  
防災公園・施設 資料集」として発行した。またこれにあわせて、東日本大震災  
からの復興における緑のあり方の基本を再確認し、近年の研究成果を発表する  
セミナーを仙台で開催したほか、被災地における直近のまちづくりや公園づくり  
の事例を調査した。

###### ③ ユニバーサルデザインに関する調査研究

「都市公園におけるバリアフリーチェックシート」の改良と書籍の発行に  
向けての検討を行った。

###### ④ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

東京都が推進する校庭芝生化事業を支援するとともに、地域性系統緑化の  
生産や利用の実態を把握するための準備を進めた。

さらに、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に向け、真夏に  
楽しめる花壇の植物材料の研究等に関する調査を行った。

###### ⑤ 都市の緑環境に関する調査研究

「造園家が考える緑の墓園」のケーススタディを実施するとともに、「マン  
ションのみどり改善ガイド」の作成を進めた。このほか、「植物性発生材の土  
壌への炭素固定効果」等についての調査研究取りまとめを行った。

## ⑥ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

単に緑の空間の創造にとどまらず、その利用方法や維持管理手法の提案の検討を行った。雨水貯留浸透槽用充填材及び埋戻し材の植栽基盤としての利用可能性を調べるための樹木植栽実験等を行った。

## (2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国、地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

### ① 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査研究及び技術開発

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・H26年国営ひたち海浜公園利用者満足度調査外業務
- ・H26年昭和・武蔵・有明公園施設改修検討他業務
- ・災害時における公園緑地の活用事例等に関する資料収集・整理業務
- ・防災公園計画設計ガイドライン検討調査

### ② 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査研究及び技術開発

- ・屋上緑化・壁面緑化の施工実績及び海外発信に関する検討業務
- ・屋上緑化及び壁面緑化に関する調査研究委託
- ・和泉多摩川緑地都立公園化整備推進構想（案）策定業務委託

### ③ 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査

- ・東京都公立小中学校、幼稚園・認可保育所の芝生化に対する技術支援
- ・東京都学校施設等の校庭芝生化に関する検討調査

### ④ 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査研究

- ・都市緑化に関する普及啓発事業の展開に関する検討業務
- ・山口県緑化普及推進施策に関する計画策定業務
- ・UR賃貸住宅等における園芸活動の展開等に関する検討業務
- ・東京都心部における生態系ネットワークに資する緑地の保全方策検討調査
- ・福岡市における魅力ある都市空間形成を目指した緑化効果の実証検証調査

## (3) 先進緑化技術研究

平成26年度先導的都市環境形成促進事業「先進緑化技術開発助成事業」(国土交通省)に採択された以下の技術開発を実施した。

- ・樹木の温熱環境改善ポテンシャルの把握による屋外温熱環境設計手法の技術開発
- ・屋上緑化の昇降技術の開発
- ・歩行者と自転車を区画し都市環境向上に資する緑化技術の開発
- ・屋上緑化用植物の耐乾性究明の技術開発

#### (4) 科学技術研究

科学技術研究費助成事業（科研費）に採択された以下の研究を実施するとともに、研究成果の一部を学術論文として発表した。

- ・研究課題名：ライシメーター法による実大樹木の蒸散量計測によるヒートアイランド対策への展開
- ・発表論文名：ライシメーター法による実大高木樹木等の蒸発散量の把握。  
環境情報科学28. P143～P148

#### (5) 都市緑化フォーラム2014

科学技術研究費助成事業を活用して行った調査研究や共同調査研究の成果の発表を行った。

会 場	日比谷コンベンションホール
開催日時	平成26年12月12日（金）13:00～17:00
テ ー マ	都市緑化の未来に向けて
基調講演	緑のデザイン～建築・インフラとの関係について～ 宮城 俊作 奈良女子大学 教授
研究発表	・実大高木の蒸発散量の把握研究 都市緑化技術研究所 手代木 純
	・防災緑化型立体駐車場の開発 特殊緑化共同研究会 前田 正明
	・防災公園と防災関連公園施設の最近の動向 防災公園とまちづくり共同研究会 村井 寿夫
	・地域性系統緑化種苗の普及に向けての取り組み グラントカバー・ガーデニング共同研究会 吉岡 俊哉／渡辺 晋二
	・都市公園のユニバーサルデザイン ユニバーサルデザイン共同研究会 酒井 一江／板垣久美子
	・みどりゆたかな里山墓苑の創出のために 造園新領域共同研究会 大貫 誠二
	・植物性廃材の土壌におけるCO2固定効果 造園新領域共同研究会 石井 匡志
	・雨水貯留浸透施設用充填材の研究 グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 木田 幸男
	・「緑のキキメ」冊子編集について グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 山崎 誠子

### 5. 評価事業

#### (1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）」とは、緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取り組みを評価・認定する制度であり、平成26年度末現在20サイトを認定している。

認定後は更新審査（3年毎、現地審査あり）と維持審査（毎年、書類審査）を行っており、平成26年度は更新審査を4件（表中★印）、維持審査を16件実施した。

■既存緑地版

認定企業：サイト	所在地	認定年度
三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル本館及び駿河台新館	東京都千代田区	2005
トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
ソニーイーエムシーエス株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡幸田町	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
★富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
ソニーセミコンダクタ株式会社 大分テクノロジーセンター	大分県国東市	2007
サンデンホールディングス株式会社 サンデンフォレスト・赤城事業所	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
出光興産株式会社 千葉製油所・千葉工場および出光会館	千葉県市原市	2008
株式会社グリーン・ワイズ 本社緑地	東京都多摩市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
出光興産株式会社 徳山事業所	山口県周南市	2010
★日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター・日産先進技術開発センター	東京都中央区	2011
★ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
★株式会社ディスコ広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
シミックCMO足利株式会社	栃木県足利市	2005

また、「社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）」の個別部門である「都市のオアシス」部門について、平成25年度から認定を実施している。平成26年度は、以下の13サイトを認定した（累計認定数は28件、3年毎に更新）。

#### ■都市のオアシス

認定サイト	事業者名	所在地
コピス吉祥寺 吉祥空園 s o r a	一般財団法人武蔵野市開発公社	東京都 武蔵野市
K I T T E ガーデン	日本郵便株式会社	東京都 千代田区
新宿マルイ本館 屋上庭園Q-COUTE	株式会社丸井グループ	東京都 新宿区
代々木 VILLAGE b y k u r k k u	株式会社 VILLAGE	東京都 渋谷区
メディカルハーブガーデン 薬香草園	株式会社生活の木	埼玉県 飯能市
ホテル椿山荘東京 庭園	藤田観光株式会社	東京都 文京区
サカタのタネ 本社	株式会社サカタのタネ	神奈川県 横浜市都筑区
なんばパークス パークスガーデン	南海電気鉄道株式会社	大阪府 大阪市浪速区
キャナルシティ博多	福岡地所株式会社	福岡県 福岡市博多区
「新里山」・「希望の壁」	積水ハウス株式会社	大阪府 大阪市北区
ウェルカムガーデン新大阪「大阪花屏風」	大和リース株式会社	大阪府 大阪市淀川区
大阪ステーションシティ	大阪ターミナルビル株式会社	大阪府 大阪市北区
あべのキューズモール ガーデンエリア	東急不動産株式会社	大阪府 大阪市阿倍野区

## （2）都市緑化技術の審査・証明

都市緑化技術の審査証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、その周知広報に努めた。

審査証明の有効期間は5年であり、平成26年度は以下の2件の審査証明の更新を行った。

- ・高分子系発酵下水汚泥コンポスト「JCN エコ コンポスト」
- ・生態学的植生浮島「バイオコズモ」

## 6. 人材の育成、情報の発信、国際協力等

### (1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対し、技術開発基金による助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

平成26年度は、以下の研究機関に所属している若手研究者の調査研究活動に対して、総額20万円の支援を行った。

所属研究機関	研究テーマ
千葉大学大学院	都市緑地の健康効果と地域住民の利用行動の関連性の検証
東京工業大学大学院	都市における単木の熱・水収支の長期観測データ分析

### (2) 都市緑化技術研修会の実施

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター
開 催 日	平成27年1月15日(木)～16日(金)
参 加 者	49人
テ ー マ	都市のグリーンインフラ形成と管理・再生
講 義	<ul style="list-style-type: none"><li>・「都市の緑の保全・創出と2020年の先の展望」 町田 誠 国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長</li><li>・「横浜市の緑の保全と創造について」 上原 啓史 横浜市役所 環境創造局みどりアップ推進部長</li><li>・「文化財庭園における樹木の長期的な管理手法について—旧吉田茂邸庭園を事例として—」 野村 勘治 (有)野村庭園研究所 所長</li><li>・「都市の緑の成熟化と自然再生について」 森本 幸裕 京都学園大学 バイオ環境学部 教授</li><li>・「都市緑化における緑の生育と制御・更新について—都市緑化の長寿命化には造園関係者の連携が鍵—」 山本 紀久 (株)愛植物設計事務所 会長</li><li>・「シンガポールの都市環境デザインと日本における実践」 稲田 純一 (株)ウイン 代表取締役</li><li>・「都市開発と緑化—東京ミッドタウンにおける持続可能性への取り組み—」 雨宮 克也 三井不動産(株)開発企画部 環境創造グループ長</li></ul>
現地視察	東京ミッドタウン



### (3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査・研究成果の発表等を内容とする機関紙「都市緑化技術」を発行している。

平成26年度は、「都市のデザインとグリーンインフラストラクチャ」(No. 95)「都市緑化における長期的な管理」(No. 94)、「学校とみどり」(No. 93)、「みどりの市民活動」(No. 92)をテーマに4号を発行した。

発行部数 (各号) 2,000部  
配布箇所数 (各号) 1,000箇所

### (4) 造園CPDプログラムへの登録

都市のみどりに関わる技術者の緑化技術の向上等を目的として、造園CPD協議会に参加し、主催する以下の事業について造園CPDプログラムへの登録を行った。

- ・第19回及び第20回「スカイフロントフォーラム」
- ・都市緑化フォーラム2014
- ・平成26年度 都市緑化技術研修会
- ・防災研セミナー「緑の震災復興を考える・仙台」

### (5) 海外技術調査及び国際協力

第6回日韓屋上緑化技術国際セミナーを次のとおり実施した。

会 場	目黒雅叙園 花苑 (4階)
日 時	平成26年10月15日 (水) 13:15~17:00
講 演	・ソウルのみどり政策について ~ソウル、花で咲く~ オ ヘヨン ソウル市 みどり都市局長 ・特殊緑化技術を活かした都市の活性化に向けて 山田 宏之 大阪府立大学 教授 ・人工地盤緑化の景観生態的なアプローチ ~世宗市 行政 センターの事例を通して(世界最長の屋上庭園)~ イ エラン 清州大学校 教授 社団法人韓国人工地盤緑化協会 常任理事 ・建築物緑化産業と性能定量化、熱、数文学的解釈基盤 キム テハン 祥明大学校 教授 社団法人韓国人工地盤緑化協会 総務理事 ・安全安心な屋上緑化をつくるために 橘 大介 公益財団法人都市緑化機構 特殊緑化共同研究会 技術部会長 ・交通インフラにおける特殊緑化の推進に向けた取り組み 特殊緑化技術の展開 安全・安心の都市を目指して 前田 正明 公益財団法人都市緑化機構 特殊緑化共同研究会 交通インフラ緑化分科会長

## **(6) 植樹保険制度の活用支援**

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。平成26年度における植樹保険の付保件数は638件であり、減少傾向にあるものの最近3年はほぼ横ばい状態である。

## **(7) その他の協賛、協力等**

平成26年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。また、都市緑化基金等連絡協議会（会員数61団体）の活動に事務局として協力した。

## **7. 会議の開催**

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

### **(1) 理事会**

- ・平成26年5月26日（月） 第5回通常理事会  
議案 平成25年度事業報告及び収支決算（案）について  
定時評議員会の開催について
- ・平成26年10月28日（火） 第6回臨時理事会  
議案 「高原基金の森」支援事業の終了について
- ・平成27年3月16日（月） 第7回通常理事会  
議案 基本財産の増額について  
平成27年度事業計画及び収支予算について  
平成27年度資産運用方針について  
職員退職手当支給規程の改正について

### **(2) 評議員会**

- ・平成26年6月10日（火） 第2回定時評議員会  
議案 平成25年度収支決算（案）について  
評議員の選任について

## **8. 理事及び評議員の異動**

### ・理事

平成26年12月31日付けで嶋田実名子理事が辞任した。

### ・評議員

平成26年6月10日付けで椋田哲史評議員が辞任し、後任として、第2回定時評議員会において、根本勝則氏を選任した。

※平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。